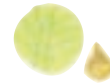


第42期 事業報告書

平成14年3月1日～平成15年2月28日

you
me
town



IZUMI REPORT 2003

2003年2月期の業績について



代表取締役社長 山西 泰明

4期連続の増収増益となりました。

当期は、個人消費の不振やデフレの進展など小売業にとって厳しい環境が続き業界再編が加速しました。このような状況のもと、イズミは小売業の原点に帰りお客様満足を追及してまいりました。

特に、販売力を強化し既存店売上高の確保に努めるとともに、コスト構造の見直しによる収益力の改善に努めました。

販売力の面では、旬の商品の早期売場展開や高付加価値商品の拡充、売場構成の見直しによる提案力の強化に努めました。

また、安全・健康を絶対の基準とし、川上まで遡り品質を確認し適切な表示で提供しました。

収益力の面では、仕入先と連携し商品原価の低減を図るとともに、人的生産性の向上など販管費の抑制に努めました。

これらの結果、当期の業績は右記のとおり4期連続の増収増益となりました。

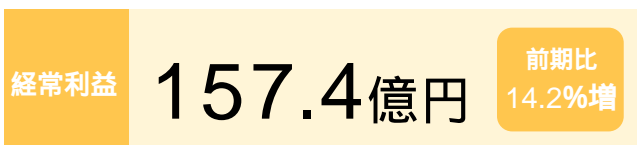
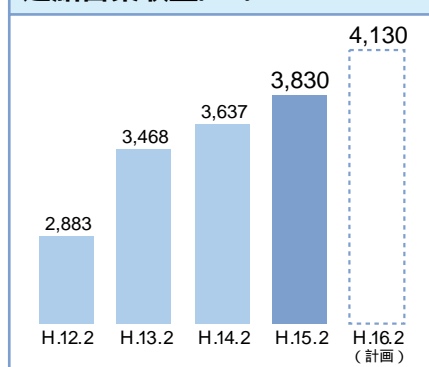
なお、この成果を株主の皆様へ還元するべく、
1株当たり配当金を年間23円00銭
(従来は年間21円00銭)に増配させていただきます。





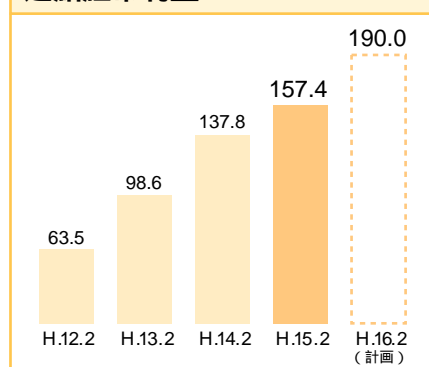
イズミ単体の売上が既存店ベースで前年比99.6%と堅調に推移したことに加え、ゆめタウン学園店の新設や(株)ニコニコ堂様からの店舗賃借が寄与しています。

連結営業収益(億円)



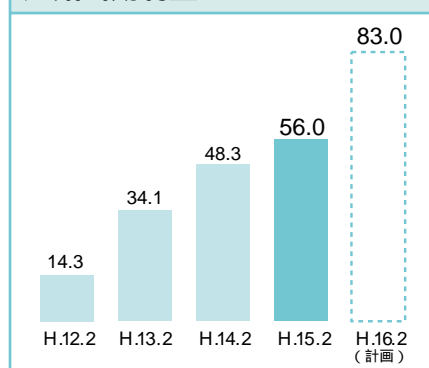
コスト構造の改革や支払利息の削減により、経常利益は14.2%の増加となりました。なお、資産効率を示す総資産経常利益率は5.8%(前期比+0.7%)となっています。

連結経常利益(億円)



固定資産売却損などの特別損失を計上しましたが、当期利益は56億円、前期比15.9%増加となり、1株当たり利益は95.23円となりました。

連結当期利益(億円)



お客様満足を得ることが、私たちの原点です。

小売業を取巻く環境は混沌としており、お客様に価値を提供するという原点に帰らなくてはなりません。

お客様のご満足こそが小売業の収益の源泉です。

お客様満足を実現できる企業にとって、今の環境は飛躍するチャンスとも言えるでしょう。

変化へ適切に対応します。

お客様のニーズは目まぐるしく変化しています。旧来のやり方にとらわれずお客様の立場で改革し、スピードをもって実現していかななくてはなりません。

そのために必要なのはチームワークです。社内はもちろん、仕入先との連携を強化し情報を共有しつつ魅力ある品揃えに取り組んでいます。



地域密着企業として

お客様のニーズは多彩であり地域によって異なります。イズミは出店エリアを限定し、地域特性の理解に努めてきました。そして、一店舗一店舗をその特性に合わせて作りあげてきました。

地域密着はイズミの変わらぬ姿勢であり、環境や雇用などを含めて地域に貢献する企業であり続けたいと思います。

地域一番店“ ゆめタウン ” you me town

出店の中心は地域一番の大型ショッピング・センター“ ゆめタウン ”です。

「あなたと私の夢が広がる街」として、地域の生活を豊かにする店づくりを心がけており、現在、中国地方から九州、四国へ展開しています。

今年度より熊本のニココ堂様とご縁をいただき一部の店舗を“ ゆめタウン ”としてお借りすることになりました。地元で愛される店作りを実現し、九州での基盤を一層強化してまいります。

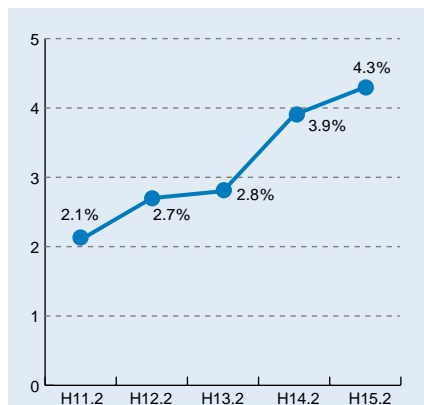


企業価値の向上に取り組みます。

淘汰や再編が進む小売業界ですが、必要なのは単なる規模の拡大ではなく収益力の高い安定した経営基盤です。

イズミは、店舗・商品・サービスの品質を高め販売力を強化するとともに、仕入原価や販管費などコスト構造の改革に取り組み利益率を改善しています。また、有利子負債とキャッシュフローのバランスを改善し、財務の健全化を図っています。

特に重要なのは価値創造の担い手である人材の育成であり、長期的な教育プランと成果主義の人事制度を取り入れ、意欲と能力のある人材の登用を進めています。



営業利益率(単体)



イズミの本業をサポートしている子会社においても、エクセルやゆめカードなどが独自の領域で成長を果たしており、グループ間の相乗効果で収益力を高めています。



TOPICS

ニコニコ堂の再建を支援

民事再生会社(株)ニコニコ堂の再建支援として、大型店舗の一部を賃借することとなりました。

賃借店舗はいずれも地域一番の大型店舗であり、高い収益性を期待できるほか、出店エリアが熊本県まで広がり、九州地方での基盤がさらに、強化されることとなります。今後も、従業員の雇用や仕入先様との取引を継続し、地域経済に貢献してまいります。



ゆめタウン学園店を新設

10月25日(株)ダイエーの閉鎖物件にゆめタウン学園店(東広島市)を新設いたしました。広島大学キャンパスにほど近く、お客様の大半が学生という商圈特性にあわせて既存の



店舗よりも対象年齢層を引下げ、ファッション性の高いカジュアルブランドを幅広く展開。また、若者の生活感覚に合わせて品揃えや容量・価格を見直しました。



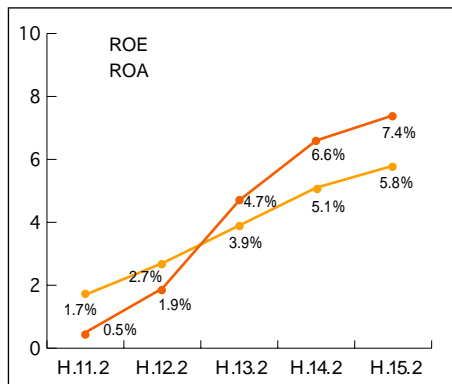
利益還元

1株あたり配当金、年間23円に増配!!

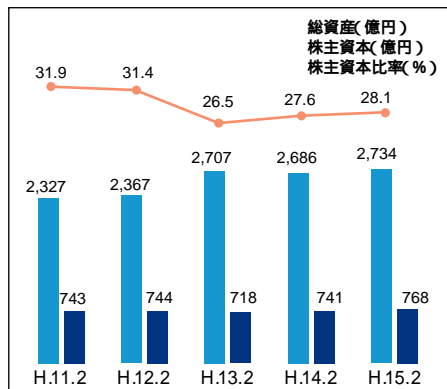
イズミは地域のお客様に株主となっていただき、末永くご指導を賜りたいと考えております。この観点から、株式の売買単位を100株単位に引下げるとともに株主優待制度を拡充し、当社株式の魅力を高めてまいりました。さらに、当期末より年間配当金を23円に増配(従来21円)し、長期投資のメリットを一段と高めました。今後も一層の業績拡大と利益還元に取り組む、ご期待に応えてまいります。



連結株主資本当期利益率(ROE)と 連結総資産経常利益率(ROA)



総資産と株主資本(連結)



[連結] 決算

単位:百万円

	平成12年2月	平成13年2月	平成14年2月	平成15年2月	平成16年2月計画
営業収益	288,342	346,811	363,714	383,098	413,000
前年比	103.4%	120.3%	104.9%	105.3%	107.8%
営業利益	8,133	10,285	14,783	15,993	20,200
前年比	144.3%	126.4%	143.7%	108.2%	126.3%
経常利益	6,352	9,862	13,782	15,741	19,000
前年比	163.1%	155.2%	139.7%	114.2%	120.7%
当期純利益	1,437	3,415	4,832	5,600	8,300
前年比	420.4%	237.6%	141.5%	115.9%	148.2%
1株当たり利益	21.99円	53.66円	81.46円	95.23円	146.23円
総資産	236,785	270,757	268,654	273,484	—
株主資本	74,471	71,810	74,131	76,892	—
1株当たり株主資本	1,145.13円	1,155.75円	1,253.25円	1,354.71円	—
株主資本利益率	1.9%	4.7%	6.6%	7.4%	—
株主資本比率	31.4%	26.5%	27.6%	28.1%	—
連結子会社数	3社	16社	18社	17社	—

[単体] 決算

単位:百万円

	平成12年2月	平成13年2月	平成14年2月	平成15年2月	平成16年2月計画
営業収益	283,987	304,257	310,365	321,305	337,600
前年比	103.1%	107.1%	102.0%	103.5%	105.1%
営業利益	7,612	8,255	11,825	13,340	14,900
前年比	135.2%	108.5%	143.2%	112.8%	111.7%
経常利益	5,910	6,856	10,890	12,648	14,000
前年比	150.1%	116.0%	158.8%	116.1%	110.7%
当期純利益	1,346	3,106	3,789	5,621	6,850
前年比	342.6%	230.7%	122.0%	148.3%	121.9%
1株当たり利益	20.60円	48.81円	61.34円	92.33円	114.03円
総資産	217,179	220,474	216,540	218,473	—
株主資本	74,586	73,559	75,465	77,334	—
1株当たり株主資本	1,146.90円	1,183.91円	1,226.25円	1,287.34円	—
株主資本利益率	1.8%	4.2%	5.1%	7.4%	—
1株当たり配当金	21.00円	21.00円	21.00円	23.00円	23.00円

[連結] 貸借対象表

	当期 H15.2.28	前期 H14.2.28		当期 H15.2.28	前期 H14.2.28
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	52,281	47,784	流動負債	84,161	82,242
現金及び預金	8,168	8,780	支払手形及び買掛金	14,644	13,347
受取手形及び売掛金	5,853	3,693	短期借入金	43,475	42,603
たな卸資産	20,936	21,062	1年内償還予定の社債	10,000	5,000
繰延税金資産	1,286	1,309	1年内償還予定の転換社債	—	4,091
その他	16,679	13,532	未払法人税等	3,867	4,283
貸倒引当金	642	595	賞与引当金	1,464	1,585
固定資産	221,202	220,870	その他	10,709	11,331
有形固定資産	183,437	184,237	固定負債	108,209	108,027
建物及び構築物	97,526	101,100	社債	10,000	20,000
機械装置及び運搬具	1,521	1,598	長期借入金	76,313	66,011
土地	73,863	72,532	繰延税金負債	1,020	1,021
建設仮勘定	1,612	856	退職給付引当金	3,625	3,560
その他	8,913	8,150	役員退職慰労引当金	786	880
無形固定資産	8,473	6,760	その他	16,462	16,553
投資その他の資産	29,291	29,873	負債合計	192,371	190,269
投資有価証券	4,562	4,687	(少数株主持分)		
長期貸付金	2,493	2,576	少数株主持分	4,220	4,253
繰延税金資産	2,723	2,334	(資本の部)		
差入敷金及び保証金	17,528	18,078	資本金	19,613	19,613
その他	2,453	2,550	資本剰余金	22,315	22,282
貸倒引当金	469	354	利益剰余金	38,572	34,368
			その他有価証券評価差額金	221	267
			為替換算調整勘定	3	4
			自己株式	3,826	2,395
			資本合計	76,892	74,131
資産合計	273,484	268,654	負債、少数株主持分及び資本合計	273,484	268,654

COMMENT

資産・負債・資本の状況

資産 2,734億円(前期末比 48億円増加)

ゆめタウン学園店の取得や次年度以降新設店舗への先行投資、新情報システムの導入などにより固定資産は3億円増加しました。また、カード事業子会社によるクレジット売掛金の増加などにより流動資産は44億円増加しました。これらの結果、当期末の総資産は48億円増加し、2,734億円となりました。

負債 1,923億円(前期末比 21億円増加)

財務効率改善のため有利子負債の削減に取り組み、カード事業子会社を除く有利子負債は前年より17億円減少し、1,217億円となりました。

この結果、当期末の負債は1,923億円(前期末比21億円増加)となりました。

資本 768億円(前期末比 27億円増加)

堅調な営業成績により利益剰余金が42億円増加しました。その一方、株主資本の運用効率改善のため自己株式を取得しており、株主資本は768億円(前期末比27億円増加)となりました。

この結果、株主資本比率は28.1%(前期末比0.5%増)となりました。

COMMENT

連結損益の状況

営業利益 159.9億円(前期比 8.2%増)

仕入原価の引下げによる売上総利益率の改善や人件費を中心とした販管費削減により営業利益率は0.1%改善し、4.3%となりました。

経常利益 157.4億円(前期比 14.2%増)

支払利息(営業外費用)の減少の効果も加わり、経常利益は14.2%の増加となりました。

なお、資産効率を示す総資産経常利益率は5.8%(前期比0.7%増)となっています。

当期純利益 56.0億円(前期比 15.9%増)

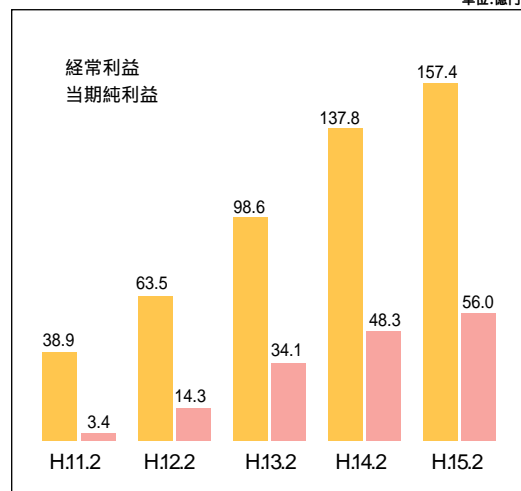
固定資産売却損の計上などの特別損失を計上しましたが、当期利益は56億円、前期比15.9%増加となり、1株当たり利益は95.23円となりました。

[連結]損益計算書

単位:百万円

	当 期 H14.3.1 - H15.2.28	前 期 H13.3.1 - H14.2.28
売上高	373,428	353,830
売上原価	283,925	269,013
売上総利益	89,502	84,816
営業収入	9,669	9,883
営業総利益	99,172	94,700
販売費及び一般管理費	83,178	79,916
営業利益	15,993	14,783
営業外収益	2,267	1,930
受取利息及び配当金	230	244
仕入割引	466	441
その他	1,570	1,244
営業外費用	2,520	2,931
支払利息及び社債利息	2,184	2,478
その他	336	452
経常利益	15,741	13,782
特別利益	221	1,072
特別損失	4,128	5,361
固定資産売却・除却損	2,580	1,524
投資有価証券売却・評価損	209	559
退職給付会計基準変更時差異	-	2,487
ポイント割引引当金繰入額	499	-
その他	838	790
税金等調整前当期純利益	11,834	9,493
法人税,住民税及び事業税	5,682	5,624
法人税等調整額	341	1,474
少数株主利益	893	511
当期純利益	5,600	4,832

単位:億円



[連結] キャッシュフロー計算書

単位:百万円

	当 期 H14.3.1～H15.2.28	前 期 H13.3.1～H14.2.28
1. 営業活動によるキャッシュフロー		
税金等調整前当期純利益	11,834	9,493
減価償却費	10,577	10,396
たな卸資産の増減額	125	1,052
仕入債務の増減額	1,296	231
法人税等の支払額	6,208	3,103
その他	135	4,019
営業活動によるキャッシュフロー A	17,761	19,520
2. 投資活動によるキャッシュフロー		
有形固定資産の取得・売却	11,815	7,314
無形固定資産の取得・売却	2,837	353
その他	2,001	618
投資活動によるキャッシュフロー B	16,654	8,286
3. 財務活動によるキャッシュフロー		
長期借入金の実行・返済	4,645	4,555
社債・転換社債の発行・償還	9,091	5,000
配当金支払額	1,327	1,363
その他	4,172	2,114
財務活動によるキャッシュフロー C	1,600	13,033
4. 現金・現金同等物の換算差額	1	4
5. 現金・現金同等物の増減額	492	1,802
6. 現金・現金同等物の期首残高	8,660	10,463
7. 現金・現金同等物の期末残高	8,168	8,660

COMMENT

キャッシュ・フローの状況

A 営業活動によるキャッシュ・フロー

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

前期と比べ17億円減少し、177億円となりました。これは堅調な営業成績の一方で税金の支払が前期に比べ31億円増加したことなどによるものです。

B 投資活動によるキャッシュ・フロー

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

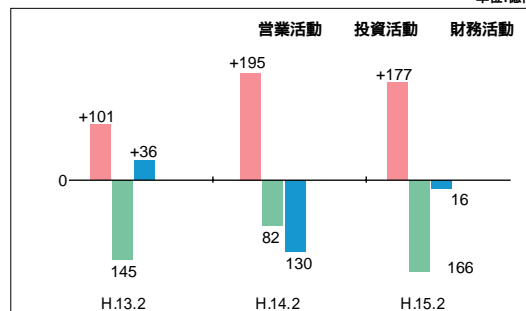
前期と比べ83億円増加し、166億円の支出となりました。当期は、ゆめタウン学園店の新設や次期以降新設店舗への先行投資、新情報システムの導入などを行っております。この結果、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローの差額は11億円の資金余剰となりました。

C 財務活動によるキャッシュ・フロー

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

当期の財務活動は、自己株式を取得する一方、営業活動と投資活動から生じた資金余剰額を有利子負債の返済に充当しており、その結果、16億円の支出となりました。

単位:億円



COMMENT

新規出店と閉店

期末店舗数	71店舗
新設	1店舗
閉店	4店舗

既存店売上高 前年比

引き続き来店客数を伸ばし、
堅調な既存店売上高を計上しました。

既存店売上前年比	99.6%
- 客数前年比	101.7%
- 客単価前年比	98.2%

[単体] 貸借対照表

単位:百万円

	当 期 H15.2.28	前 期 H14.2.28		当 期 H15.2.28	前 期 H14.2.28
(資産 の 部)			(負債 の 部)		
流動資産	28,139	23,529	流動負債	59,738	59,628
現金及び預金	5,902	5,511	買掛金	12,279	11,416
受取手形	2,415	510	短期借入金	23,943	23,745
たな卸資産	12,634	12,447	1年内償還予定の社債	10,000	5,000
繰延税金資産	919	850	1年内償還予定の転換社債	—	4,091
短期貸付金	3,382	1,501	未払金	4,890	5,894
その他	2,935	2,744	未払法人税等	2,770	3,642
貸倒引当金	50	36	賞与引当金	1,237	1,364
固定資産	190,333	193,010	ポイント割引引当金	606	—
有形固定資産	150,299	149,945	その他	4,011	4,473
建物	76,807	79,790	固定負債	81,399	81,446
土地	57,991	54,467	社債	10,000	20,000
建設仮勘定	1,599	851	長期借入金	53,998	42,451
その他	13,901	14,835	退職給付引当金	3,241	3,206
無形固定資産	7,480	6,598	役員退職慰労引当金	740	833
投資その他の資産	32,552	36,465	預り敷金・保証金	13,361	13,599
投資有価証券	5,749	5,372	その他	57	1,355
出資金	526	526	負債合計	141,138	141,074
長期貸付金	2,493	4,081	(資本 の 部)		
繰延税金資産	1,946	2,143	資 本 金	19,613	19,613
差入敷金	7,694	7,957	資本剰余金	22,282	22,282
差入保証金	12,861	14,973	利益剰余金	37,576	33,344
出店仮勘定	625	468	その他有価証券評価差額金	195	249
その他	1,124	1,297	自己株式	2,332	24
貸倒引当金	468	354	資本合計	77,334	75,465
資産合計	218,473	216,540	負債及び資本合計	218,473	216,540

[単体] 損益計算書

単位:百万円

	当 期 H14.3.1 - H15.2.28	前 期 H13.3.1 - H14.2.28
売上高	310,421	299,995
売上原価	238,206	228,450
売上総利益	72,214	71,544
営業収入	10,884	10,370
営業総利益	83,098	81,915
販売費及び一般管理費	69,758	70,089
営業利益	13,340	11,825
営業外収益	1,431	1,299
受取利息及び配当金	272	238
仕入割引	461	435
その他	697	625
営業外費用	2,123	2,234
支払利息及び社債利息	1,768	1,989
その他	355	244
経常利益	12,648	10,890
特別利益	109	996
賃貸借契約解約益	-	969
その他	109	26
特別損失	2,820	5,094
退職給付会計基準変更時差異	-	2,440
子会社整理損	1,044	-
ポイント割引引当金繰入額	499	-
その他	1,275	2,654
税引前当期純利益	9,937	6,791
法人税、住民税及び事業税	4,150	4,878
法人税等調整額	166	1,876
当期純利益	5,621	3,789
前期繰越利益	1,341	1,385
中間配当額	646	652
中間配当に伴う利益準備金積立額	-	65
当期末処分利益	6,316	4,457

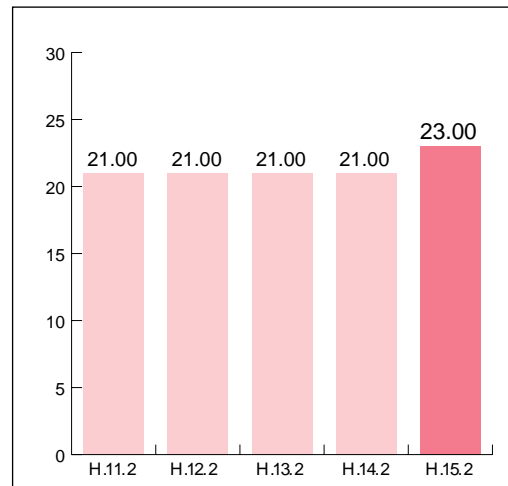
[単体] 利益処分

単位:百万円

	当 期 H14.3.1 - H15.2.28	前 期 H13.3.1 - H14.2.28
当期末処分利益	6,316	4,457
任意積立金取崩額		
特別償却準備金	22	20
固定資産圧縮積立金	14	16
合 計	6,353	4,494
これを次のとおり処分いたします。		
配当金	750 (1株につき、12円50銭)	646 (1株につき、10円50銭)
取締役賞与金	17	92
監査役賞与金	1	4
任意積立金		
特別償却準備金積立	22	9
別途積立金	4,200	2,400
次期繰越利益	1,361	1,341

配当金の推移

単位:円



Corporate Data & Stock Information

主な連結子会社の業績 (平成15年2月期)

株式会社 エクセル

海外高級ブランド専門店(36店舗展開)

営業収益	409億円(前年比2.4%増)
経常利益	11.1億円(前年比81.8%増)
当期純利益	4.0億円(前年比401%増)



株式会社 イデオ

ビル警備や施設管理の専門会社

営業収益	63.2億円(前年比44.2%増)
経常利益	4.7億円(前年比36.2%増)
当期純利益	2.7億円(前年比32.8%増)



株式会社 ゆめカード

カード事業会社(カード会員数281万人)

営業収益	46.9億円(前年比20.3%増)
経常利益	10.8億円(前年比7.5%増)
当期純利益	6.1億円(前年比29.2%増)



イズミ・フード・サービス 株式会社

飲食チェーン(132店舗展開)

営業収益	62.3億円(前年比16.2%増)
経常利益	2.8億円(前年比18.6%減)
当期純利益	1.2億円(前年比70.2%減)



会社概要 (平成15年2月28日現在)

設立年月日	昭和36年10月27日		
本社所在地	広島市南区京橋町2番22号 TEL 082-264-3211(代)		
資本金	19,613,856,196円		
従業員	正社員 2,071名 パートタイマー 4,264名(1日8時間換算)		
店舗数	71店		
	中国地方	九州地方	その他
	58店	11店	2店
	広島県 32店	福岡県 8店	香川県 1店
	岡山県 12店	佐賀県 1店	兵庫県 1店
	山口県 10店	大分県 1店	
	島根県 4店	長崎県 1店	

役員一覧 (平成15年5月22日現在)

取締役会長	山西	義政
代表取締役社長	山西	泰明
代表取締役副社長	高西	宏昌
取締役	金子	崇史
取締役	板東	博明
取締役	夏原	平次郎
常勤監査役	津村	昭治
監査役	金杉	芳治
監査役	滝本	豊水
監査役	松原	治郎

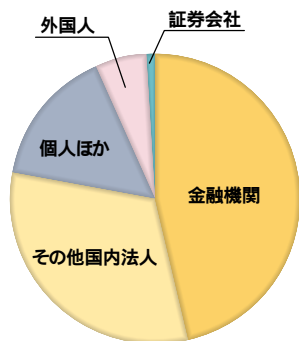
株式の状況 (平成15年2月28日現在)

会社が発行する株式の総数	195,243,000株
発行済株式の総数	61,558,710株
株主数	4,165名
1単元の株式数	100株(平成14年6月3日より)

大株主の状況

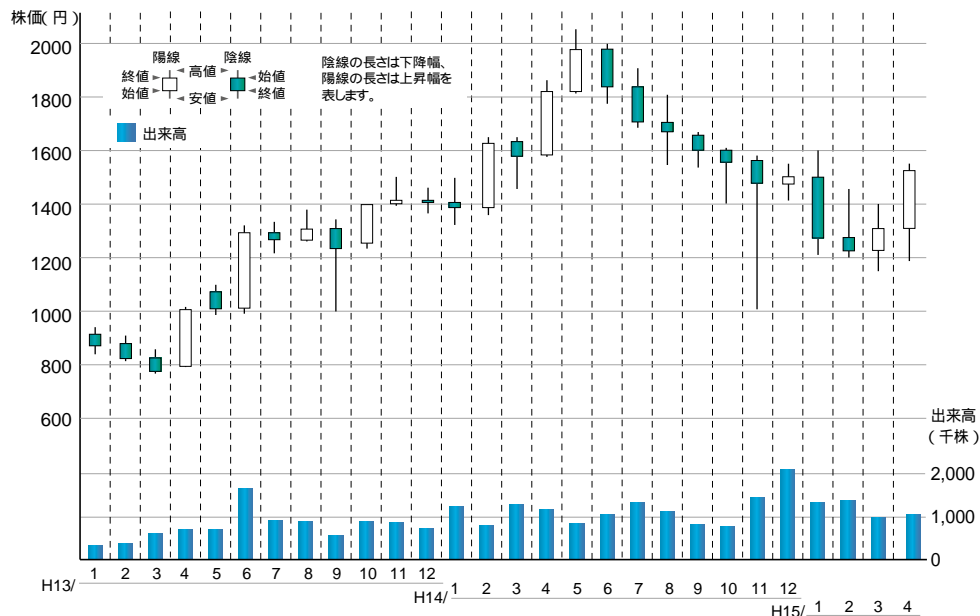
	株式数	議決権比率
(有)泉屋	4,788千株	8.27%
山西ワールド(有)	3,871千株	6.69%
(株)あおぞら銀行	2,808千株	4.85%
(株)新生銀行	2,807千株	4.85%
日本生命保険(相)	2,644千株	4.57%
みずほ信託 退職給付信託 広島銀行口 再信託受託者 資産管理サービス信託	2,516千株	4.35%
第一生命保険(相)	2,115千株	3.65%
(株)泉不動産	2,106千株	3.64%
(株)泉興産	2,000千株	3.45%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	1,749千株	3.02%
10社合計	27,408千株	47.34%

株式の分布状況



金融機関	44.9%(27,655千株)
その他国内法人	32.4%(19,970千株)
個人ほか	17.6%(10,856千株)
外国人	4.6%(2,842千株)
証券会社	0.4%(232千株)

株価の推移



株主メモ

決算期	2月末日(年1回)
定時株主総会	5月下旬
利益配当金受領株主確定日	2月末日
中間配当金受領株主確定日	8月31日
公告掲載紙	日本経済新聞
上場証券取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
名義書換代理人	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 住友信託銀行株式会社
同事務取扱場所	住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	[住所変更等用紙のご請求] ☎ 0120-175-417 [その他ご照会] ☎ 0120-176-417
同取次所	住友信託銀行株式会社 全国各支店

株主優待制度の概要

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、ご所有株式数に応じて次の通り「株主ご優待券」をお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額
100株以上	200円券 × 5枚 = 1,000円の優待券
500株以上	200円券 × 25枚 = 5,000円の優待券
1,000株以上	200円券 × 50枚 = 10,000円の優待券
2,000株以上	200円券 × 100枚 = 20,000円の優待券
3,000株以上	200円券 × 150枚 = 30,000円の優待券
4,000株以上	200円券 × 200枚 = 40,000円の優待券
5,000株以上	200円券 × 250枚 = 50,000円の優待券

(注) ¥2,000円以上お買上げにつき、2,000円ごとに各1枚(200円券)をご使用できます。

泉美術館ご招待券の贈呈

平成15年2月28日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様には「泉美術館ご招待券」をお贈りさせていただきます。